



子どもたちのあそびと学びの芽



～ 冬編 ～
令和3年3月19日

幼保連携型認定こども園 大関保育園

毎日の園生活の中で、子どもたちはあそび、友だちとかかわり合いながら、いろいろな経験を積んでいます。子どもたちにとって、あそびはまさに「学びの場」です。「おもしろそう!」「やってみたい!」と子どもたちの意欲が高まり、自ら経験したことは子どもの「生きる力」を育みます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活とのかかわり ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然とのかかわり・生命尊重 ⑧数量・図形・文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現



思考力の芽生え・感じる

指先も上手に動かせるようになってきました。ティッシュケースからフェルトをつまんで引っ張り出そうと挑戦しています。最初はケースから上手く出せずに「うーん...」と少し困り顔で保育教諭に訴える姿が見られました。手を添えながらやり方を知らせていくと取り出すことができ、「やった〜」と言っているかのような素敵な笑顔が見られました。フェルトにはイラストが描いてあり、大好きなアンパンマンの絵柄が出てくるとにっこり。フェルトの素材を感じたり、絵を見たりして楽しんでいます。(0歳児)

自然とのかかわり

天気の良い日、窓に貼ったシールの色が床にきれいにくっついていました。手で触ってみると手もその色になることに気が付き、お友だちと押し合いっこしながら手を伸ばします。誰かの影になると消えてしまうので「あれ?」と真剣に探す姿も見られました。その小さな変化に気付くことが学びに繋がっていくのでしょうか。(1歳児)



言葉による伝え合い・豊かな感性

みんな絵本が大好きです。お気に入りの絵本を持ってきて「よんで〜」と友だちや保育教諭と楽しんでいます。絵本を見て、子ども「これはなあに?」保育教諭「これは〇〇だね〜」というやりとりを満足するまで楽しんでいます。絵本に親しむことで、少しずつ言葉や感覚が豊かさを増し、友だちや保育教諭と心を通わせることができるようになっていきます。(1歳児)

思考力の芽生え

友だちがはしごの下をくぐっているのを見て「私もやってみよう」とはしごの下に頭を入れようとしていますが...頭がはいらず「できない!」と泣いてしまいました。保育教諭に「頭を横にしてみたら」と声をかけられたことで頭を右に左にと傾け、試しながらぐり方を考えていました。できないことで諦めるのではなく、保育教諭との会話の中で「どうしたらできるのだろう?」と考え行動していく姿が見られました。(2歳児)



豊かな感性と表現

はしごの下をくぐっていた友だちの手を引っ張り楽しんでるうちに、「ぼくも」「わたしも」と友だちの足を持つたり、背中を引っ張り始めました。うんとっこしょ!どっこいしょ!!とかげ声がかかると発表会を思い出し、カナリヤさんのかぶを抜いていました。友だちと一緒に活動するなかで、表現する楽しさも感じていました。(2歳児)



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

「はいかなあ?」「なかなかはいらんわ!」と水やりに使っていたじょうろの中に雪を入れようとしていました。バケツには簡単に雪を入れることができたのに、じょうろにはなかなか雪が入りません。どうして入らないのかカナリヤさんにはまだ難しいかもしれませんが、この経験を通して形や大きさ、ものの大小を見分ける力が育ってほしいと思います。(2歳児)



道徳性・規範意識の芽生え

お相撲ごっこをし、負けて悔し泣きをしている友だちに「どうしたの?」と声を掛ける姿が見られました。その後も「一緒に行こう」と声を掛け友だちの手を取るのを嬉しそうに微笑みながら歩きだしていました。子どもたちの友だちを気に掛ける姿に心が温まりました。(3歳児)



自然とのかかわり

雪が降り、園庭で遊んでいると雪が溶けてつららを発見しました。つららを見て「すごい!」「ツンツンしてる」「落ちそう」など興味津々の子どもたちでした。氷を見つけると、「きゃ〜」「冷たい!」「なんかぬるぬるする」と一人一人感想を言っていました。雪でかき氷を作ったり雪だるまを作ったり雪合戦をしたりと雪が沢山降り、子どもたちにとって発見だらけの冬になりました。(3歳児)



豊かな感性と表現

色々な素材の廃材を使いながら、作るのも上手になってきました。お店屋さんごっこの品物作りでは「車を作りたい!」との声が上がりました。自分で沢山の廃材の中から選び、「これ(ペットボトルのふた)はライト!」「これ(紙コップ)は鉄砲!」と友だち同士で表現しながら取り組む姿が見られました。時々、「のりでつけたけど、すぐ外れてま〜」と弱音が聞こえることもありましたが...。また自分で考え、「キラキラテープにしたらいいわね。」などの気づきもあったようです。(4歳児)

道徳性・規範意識の芽生え

制作時や沢山の遊びの経験の中で、今までは「のり片付けてね。」などと声を掛けることも多かったですが、少しずつ自分で考えて行動することも増えてきました。「(制作)終わったらどうすればいい?」と先のことを読んで聞いたり、「のりや鉛筆、集めて持ってきたよ!」と保育教諭の姿をしっかり見て、それを自分たちでやろうという主体性も見えてきました。(4歳児)

